

学校法人 兵庫医科大学  
平成 28 年度 事業報告

## I. 法人の概要

### 1. 沿革（平成 26 年度～28 年度の 3 年間の抜粋）

平成 26 年	3 月	兵庫医科大学	オーストラリア連邦アデレード大学と学術交流に関する基本合意書を締結
平成 26 年	4 月	兵庫医科大学	研究医養成枠として 2 名増員し、入学定員は 112 名となる。
平成 27 年	4 月	兵庫医科大学	健康医学クリニック完成
平成 27 年	4 月	兵庫医科大学	社学連携推進機構設置
平成 27 年	12 月	兵庫医科大学・兵庫医療大学	北京中医薬大学との学術交流に関する協定を締結
平成 28 年	1 月	兵庫医科大学	ささやま居宅サービスセンター開設
平成 28 年	2 月	兵庫医科大学病院	日本医療機能評価機構より病院機能評価（3rdG・Ver.1.1）の認定
平成 28 年	12 月		ドイツ連邦共和国ビュルツブルグ大学医学部と学術交流協定を締結

### 2. 設置する学校・学部・学科等（平成 28 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

学 校 名	学部・学科等名	入学定員	平成 28 年度 入学者数	収容定員	現 員
兵庫医科大学 (学長：野口光一) 昭和 47 年 4 月開学	大学院 医学研究科	60	51	240	186
	医学部 医学科	112	112	666	702
兵庫医療大学 (学長：馬場明道) 平成 19 年 4 月開学	大学院 薬学研究科	3	3	12	11
	大学院 看護学研究科	8	7	16	21
	大学院 医療科学研究科	8	8	16	17
	薬学部 医療薬学科	150	153	900	876
	看護学部 看護学科	100	116	400	417
	リハビリテーション学部 理学療法学科	40	48	160	178
	リハビリテーション学部 作業療法学科	40	42	160	188

### 3. キャンパスの所在地

学校法人兵庫医科大学

西宮キャンパス 兵庫県西宮市武庫川町1番1号（〒663-8501）  
兵庫医科大学 医学部 医学科  
大学院 医学研究科  
兵庫医科大学病院

篠山キャンパス 兵庫県篠山市黒岡5番地（〒669-2321）  
兵庫医科大学 ささやま医療センター  
兵庫県篠山市黒岡36番地（〒669-2321）  
兵庫医科大学 ささやま老人保健施設  
ささやま居宅サービスセンター

神戸キャンパス 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6（〒650-8530）  
兵庫医療大学 薬学部 医療薬学科  
看護学部 看護学科  
リハビリテーション学部 理学療法学科  
作業療法学科  
大学院 薬学研究科  
大学院 看護学研究科  
大学院 医療科学研究科

### 4. 役員・評議員・教職員の概要

(1) 役員（平成29年3月31日現在）

理事【定員 17～19名・現員 19名】（常勤 13名、非常勤 6名）

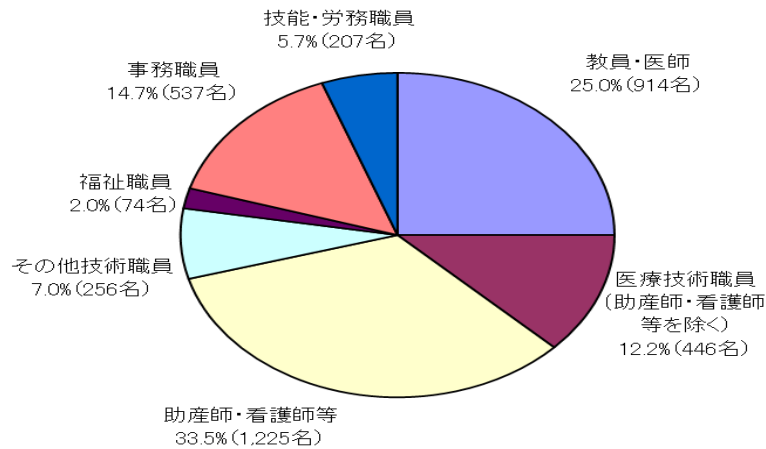
監事【定員 2～3名・現員 2名】（常勤 1名、非常勤 1名）

(2) 評議員（平成29年3月31日現在）

【定員 38～42名・現員 40名】

## 5. 教職員数（職種別：平成 29 年 3 月 31 日現在）

職種別職員構成比(平成29年3月31日現在)



## II. 事業の概要

### 《法人》

#### ○ 中長期収支・財務シミュレーションの策定

・平成 37 年度の新病院棟完成を目標に、今後の収支状況の推移を予測し、将来計画を実現可能なものとするため、10 年間の収支・財務シミュレーションを策定した。これに基づき財務基盤安定のための課題を解決していくことになった。

#### ○ 収支・財務シミュレーションに基づく、適正予算の編成

・9 月に策定した 10 年間の収支・財務シミュレーションに基づき、平成 29 年度の目標収支差額を予算編成のガイドラインとして定め、予算編成を実施した。

#### ○ 第 2 次中期事業計画に基づく年次事業計画の策定・進捗管理

・第 2 次中期事業計画、将来計画に基づき、平成 29 年度事業計画の個別事業の策定を行った。  
・平成 28 年度事業計画については、上半期、年度末の進捗確認を書面で実施し、理事会に報告した。

#### ○ 広報関係

##### 1) 報道機関への積極的情報発信とパブリシティの獲得

・兵庫医科大学および兵庫医療大学の教育・研究、並びに兵庫医科大学病院の診療に関して広く世の中にご理解をいただくため、報道機関に対して定期的なニュースリリ

ース・ニュースレターの配信を行った(平成28年度実績計50本 ※前年度比106%)。

・研究発表件数を増大すべく、学術研究支援部の協力のもと研究関係の情報収集やヒアリングに取り組み、「平成28年度幹部教員FD」で研究発表フローの説明(平成28年6月4日)なども行った結果、年度目標件数(4件)を大きく上回る計10件の研究発表内容を世の中に発信することに成功した。

・主に阪神・神戸地域の報道機関を定期訪問して関係を深めるとともに、丹波・篠山地域の報道関係者への新規訪問を行い、知名度向上と関係の強化に努めた。

・その他、テレビ局や新聞社等からの取材依頼対応に迅速に対応した結果、今年度も過去最高数のパブリシティーを獲得することに成功した

## 2) 他企業とのアライアンスによる地域貢献活動およびPR

・平成26年度からスタートした阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市福島区)との地域貢献アライアンス施策として、平成28年度も以下のような沿線住民の健康増進に資する取り組みを継続して実施した。

◇阪神電鉄が発行する沿線情報誌「ホッと! HANSHIN」(月刊)をはじめ、HANSHIN女性応援Webサイト「Cheer\*full Cafe」、阪急阪神ホールディングス情報媒体「WellTOKK」「Wellness プラス」などの中で医療に関する記事制作に協力し、地域住民の皆様へのわかりやすい医療情報の提供に努めた。

◇阪急阪神ホールディングスグループである(株)エキ・リテール・サービス阪急阪神と連携し、同社のジューススタンド「ジュースデリ マメカ」において、当院の管理栄養士が監修した「ベジフル サラダスムージー」を西宮市内2カ所にて販売し、当院の知名度向上に努めた。

◇平成28年8月27日から29日の3日間、学校法人兵庫医科大学(兵庫医科大学病院・兵庫医療大学)として、阪神電鉄や神戸大学と一緒に医療体験イベント「HANSHIN健康メッセ」を初開催し、小・中・高生を中心とした計1万人以上の一般市民に医療体験の提供を行うことで、子どもたちの夢を育む地域貢献活動に貢献するとともに、法人全体のPRを行った。

## ○ 学校法人兵庫医科大学無期契約雇用職員就業規則の制定

平成24年4月から施行されている兵庫医科大学非常勤職員就業規則、兵庫医科大学ささやま医療センター非常勤職員就業規則、兵庫医科大学ささやま老人保健施設非常勤職員就業規則、兵庫医療大学非常勤職員就業規則に関して、各々の就業規則の契約最長期間は5年となるため、同年月に採用された者は平成29年3月で雇用満了となる。そのため非常勤職員についても業務評価が優秀でかつ本人が継続勤務を希望す

る場合は、継続して本法人で勤務ができる制度を構築することとし、学校法人兵庫医科大学無期契約雇用非常勤職員就業規則を制定した。

これに基づき、平成29年4月から同就業規則を適用するメディカルスタッフは7名、事務局職員は15名が対象となった。

#### ○ 人事考課制度の見直し

平成27年度から、事務局・コメディカル(看護師除く)・実験補助・技術員の正職員を対象として、新たな人事考課制度を導入したが、看護師については、ラダー教育制度と人事考課制度を1本化した新たな制度を構築し平成28年度から実施しているが、スタート時の「クリニカルコース」に加え、新たに「マネジメントコース」を制定した。

#### ○ 補助金

平成28年度 私立大学等経常費補助金について、下表のと通りの概算交付があった。

(金額単位：千円)

	一般補助	特別補助	合計	(参考)	
				平成27年度	平成26年度
兵庫医科大学	1,396,668	166,533	1,563,201	1,660,175	1,707,947
兵庫医療大学	434,373	50,926	485,299	469,750	403,915
合計	1,831,041	217,459	2,048,500	2,129,925	2,111,862

#### ○ 募金

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの申込み実績は次のとおりであった。

学校法人兵庫医科大学基金

受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
22	4,650,000	329	21,910,000	351	26,560,000

(平成20年度開始からの累計申込み実績)

受配者指定寄付金： 324件 69,205,000円

特定公益増進法人： 1,605件 116,220,498円

合計： 1,929件 185,425,498円

兵庫医科大学開学40周年記念事業募金

受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
1	2,500,000	40	6,337,218	41	8,837,218

(平成24年度開始からの累計申込み実績)

受配者指定寄付金： 198件 1,160,815,000円

特定公益増進法人： 574件 314,049,358円

合計： 772件 1,474,864,358円

## ○ 男女共同参画推進事業

### 1. 女性医師支援プロジェクトの立ち上げ

働きやすい病院づくりを目指し、男女共同参画本部長（兵庫医科大学学長）主導の下、医師の多様な働き方と豊かなキャリア形成および医学生教育の為のプロジェクトチームを立ち上げた。医師が仕事と生活を両立し安心して働き続けられる環境を構築する為、様々な角度から支援活動に取り組んでいる。

### 2. 講演会開催

#### (1) 平成 28 年度男女共同参画推進特別講演会

日時：平成 28 年 11 月 2 日(水) 午後 5 時 30 分～6 時 45 分

場所：兵庫医科大学 3-1 講義室

演題：父親の育児が日本の未来を救う！

～女性のチャレンジを支える男性の家庭参画～

講師：大阪教育大学教育学部 准教授、NPO 法人ファザーリング・ジャパン顧問  
小崎 泰弘 氏

対象：全教職員

目的：ワークライフバランスや働き方改革など男女共同参画推進事業の必要性の認識  
および意識醸成

内容：社会的背景と講師の体験を交え「男性の育児参画」という観点から、これからの時代の生き方・働き方の変革について、また男女共同参画推進の重要性についてご講演頂いた。

参加人数：59 名（男性 43 名、女性 16 名）

#### (2) 女性医師支援プロジェクト企画 FD 講演会

日時：平成 29 年 2 月 27 日(月) 午後 5 時 30 分～6 時 45 分

場所：兵庫医科大学 9-2 講義室

演題：男女医学生・医療人の豊かなキャリアパス実現に向けて

講師：(財)田附興風会医学研究所北野病院 前副所長兼腎臓内科部長、男女共同参画  
委員会初代委員 武曾 恵理 先生

対象：主に医師、研修医、医学生

目的：医師・医学生のキャリア形成の充実および働きやすい環境づくり

内容：医師全体の働き方の現状や問題点から、北野病院での男女共同参画委員会の立ち上げについてなどデータを示しながらその必要性や成果についてご講演頂いた。

参加人数：44 名（男性 16 名、女性 28 名）

### 3. 管理職向け研修の実施

組織の働き方応援セミナー 管理職向けワークライフマネジメント研修

日時：平成 29 年 1 月 30 日(月) 午後 4 時～5 時 30 分

場所：兵庫医科大学 9-3 講義室

講師： NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西副理事、社会保険労務士 天野 勉 氏  
対象：西宮キャンパス 事務職員・メディカル職員の管理職者  
目的：旧態依然とした働き方を見直し、限られた時間でよりよい成果を出す為のマネジメントへの転換  
内容：ワークライフバランスの必要性、今後の働き方の多様性についてなどクイズや個人ワークも組み込み実施した。  
参加人数：34名（男性26名、女性8名）

#### 4. 育児支援ワーキンググループの設置および教職員ママパパ交流会の実施

男女共同参画推進室の下、医師・看護師・メディカルスタッフ・事務員によるワーキンググループを設置し、育児と仕事を両立している教職員の支援に取り組んでいる。

##### 第1回教職員ママさんパパさん交流会

日時：平成28年11月19日(土) 午後1時30分～3時

場所：兵庫医科大学 第3会議室

目的：情報共有の場として活用すると共に職員同士の交流の場を設けることで、職種を越えた繋がりができ、安心して働きつづけることができる職場環境づくりを目指す

内容：ワーキンググループメンバーの進行により参加者全員で座談会を行い、仕事と家庭の両立のコツや悩み、育児支援サービスなどについて情報共有を行った。子供同伴可とし、授乳室やプレイスペース等を用意した。

参加人数：36名（男性8名、女性28名）

#### 5. 意識調査の実施

(1) 男女共同参画推進に関して本学職員の現状を把握するとともに、今後の職場環境および働き方改革に役立てることを目的とした意識調査を実施した。

対象：看護職員・医療技術職員・事務職員・技術職員

内容：1.男女共同参画推進に関する本学職員の意識調査および職場環境調査  
2.学内における講演会・研修会等の開催にあたる本学職員の興味・関心  
3.育児・介護支援等に関する本学の各種制度・福利厚生への認知度調査

(2) 女性医師支援プロジェクトチームでは医師の働き方変革および医学生の育成を目的としたアンケート調査を実施した。

対象：本学卒業生（同窓会会員）および本学附属病院の勤務医

内容：1.医師の働き方や職場環境の現状調査  
2.ワークライフバランスに関する調査  
3.復職支援策に関する調査

## 《兵庫医科大学》

### ○ 平成 29 年度医学部入学試験

平成 29 年度の学生募集は、入学定員 112 名とし、一般公募制推薦入試、地域指定制推薦入試、特別選抜推薦入試、一般入試、大学入試センター試験利用入試（前期）及び大学入試センター試験利用入試（後期）を実施した。

#### 1) 推薦入学試験

区分	一般公募	地域指定	特別選抜
出願者	72 名	32 名	1 名
合格者	9 名	5 名	1 名

#### 2) 一般入学試験

区 分	人 数
出 願 者	1,973 名
第 1 次試験合格者	420 名
第 2 次試験合格者（正規）	80 名
補 欠 者	267 名

#### 3) 大学入試センター試験利用入学試験（前期）

区 分	人 数
出 願 者	678 名
第 1 次試験合格者	288 名
第 2 次試験合格者（正規）	38 名
補 欠 者	63 名

#### 4) 大学入試センター試験利用入学試験（後期）

区 分	人 数
出 願 者	42 名
第 1 次試験合格者	28 名
第 2 次試験合格者（正規）	3 名
補 欠 者	9 名

#### 5) 入学者

区 分		人 数
入	一般公募制推薦入試	9 名
学	地域指定制推薦入試	5 名
者	特別選抜推薦入試	1 名



一般入試	79名
センター試験利用入試（前期）	15名
センター試験利用入試（後期）	3名
合計	112名

### ○ 平成 29 年度大学院入学試験

入学試験は、前期募集については平成 28 年 9 月 9 日（金）に、後期募集については平成 29 年 2 月 10 日（金）に、外国語試験及び口述試験（面接）が実施され、合格者の発表は平成 28 年 10 月 7 日（金）及び平成 29 年 3 月 10 日（金）に行われた。

#### 前期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	10	7	1	2	0	0	0	0	0
受験者	10	7	1	2	0	0	0	0	0
合格者	9	6	1	2	0	0	0	0	0
入学者	9	6	1	2	0	0	0	0	0

#### 後期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	37	20	9	5	0	3	0	0	0
受験者	37	20	9	5	0	3	0	0	0
合格者	35	20	9	3	0	3	0	0	0
入学者	34	20	9	3	0	2	0	0	0

### ○ 医師国家試験

第 111 回医師国家試験

(1) 本学の状況

区分	新卒			既卒			計			
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	
本年度	98	87	88.8%	5	5	100%	103	92	89.3%	
(参考)	平成 27 年度	103	98	95.1%	2	2	100%	105	100	95.2%
	平成 26 年度	101	99	98.0%	5	4	80.0%	106	103	97.2%

## (2) 全国の状況 (合格率)

(%)

私立・全国別	新卒・既卒別	新 卒	既 卒	計
私 立 平 均		89.4	54.6	86.5
全 国 平 均		91.8	54.3	88.7

## ○ 国際交流

(1) 中華人民共和国汕頭大学医学院との学術交流に関する協定に基づき、本学における受け入れおよび汕頭大学医学院への派遣を実施した。本学では、2016年7月11日(月)から8月5日(金)まで、汕頭大学医学院学生を3名受け入れ、肝・胆・膵外科、生化学、小児科、産科婦人科、生理学 生体機能部門において、各2週間ずつ計4週間の研修を行った。また、2017年1月7日(土)から1月14日(土)まで、李嘉誠財団の支援を受け、本学第2学年次学生9名が汕頭大学第一附属病院、第二附属病院を訪問し、精神病センター、口唇口蓋裂センター、婦人科の見学や、ホスピス医の訪問診療への同行、農村貧困地域の医療ボランティアに参加した。

(2) 中華人民共和国天津医科大学との学術交流に関する協定に基づき、2016年6月4日(土)天津医科大学主催で第10回国際学術交流シンポジウムを行い、本学 病理学病院病理部門 廣田誠一主任教授、消化管科 渡二郎教授が現地にて講演を行った。

## (3) クロアチア共和国リエカ大学医学部との交換留学

クロアチア共和国リエカ大学医学部との学術交流に関する協定により、本学との大学間交換留学を実施した。

本学では、2016年8月22日(月)から9月16日(金)まで、麻酔科・疼痛制御科、形成外科、ICUにおいてリエカ大学学生3名を受け入れた。また、リエカ大学では、2016年9月19日(月)から10月14日(金)まで、本学第5学年次学生3名を内科、精神科、整形外科、物理療法学において受入れていただき、4週間の病棟研修を行った。

## (4) 米国・各大学間における学術交流

本学第6学年次学生が4週間の短期臨床研修として、アメリカ合衆国・ワシントン大学の放射線科及び家庭医療で1名、さらに、ニュージャージー州・ロバートウッド・ジョンソンメディカルスクールの消化器内科、放射線科、家庭医療・地域保健科などにて2名が病棟実習を行った。

一方で、ワシントン大学医学部およびニュージャージー州・ロバートウッド・ジョンソンメディカルスクールからは第2学年次学生を1名ずつ受け入れ、2016年6月13日(月)から7月1日(金)まで、救命救急センターにて実習を行った。

また、ワシントン大学医学部では、2016年8月6日(土)から8月13日(土)まで、社会福祉法人枚方療育園の支援を受け、本学第5学年次学生9名が生命倫理の講義や病院

見学に参加した。

(5) ドイツ・ビュルツブルグ大学との学術交流協定締結

1402年に設立され、アルツハイマー博士やシーボルト医師を輩出したビュルツブルグ大学にて、2016年10月25日、現地で調印式を行い、本学との学術交流協定を締結した。それにより、2017年4月3日(月)～28日(金)、本学第6学年次学生1名を現地へ派遣、核医学教室にて4週間の実習を行う。また、交換留学として2017年8月～9月に2名、2018年2月～3月に2名、ビュルツブルグ大学からの学生を受け入れ、本学で4週間の病棟実習を行う予定である。

○ 補助金

(1) 平成28年度科学研究費助成事業

研究種目名	件数	総交付額	
基盤研究 (B)	10	59,540,000	
基盤研究 (C)	91	141,788,212	
挑戦的萌芽研究	10	13,780,000	
新学術領域研究	1	5,330,000	
若手研究 (B)	25	39,520,000	
奨励研究	5	2,410,000	
計	142	262,368,212	
(参考)	平成27年度合計	144	249,857,488
	平成26年度合計	131	269,940,000

(2) 平成28年度厚生労働科学研究費

研究事業名	件数	総交付額	
臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業	1	9,800,000	
難治性疾患等政策研究事業	2	15,820,000	
計	3	25,620,000	
(参考)	平成27年度合計	2	4,090,000

(3) 平成28年度日本医療研究開発機構 (AMED) 研究費

研究事業名	件数	総交付額
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	1	2,984,800
難治性疾患実用化研究事業	1	10,990,000

橋渡し研究加速ネットワークプログラム	1	27,809,400	
再生医療実現拠点ネットワークプログラム 幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム	1	15,345,000	
計	4	57,129,200	
(参考)	平成 27 年度合計	3	24,987,000

(4) 平成 28 年度エコチル調査委託事業精算金（環境省）

環境省委託事業名	件数			総交付額	
		直接経費	一般管理費		
エコチル調査	1	77,908,365	11,544,467	89,452,832	
(参考)	平成 27 年度合計	1	76,153,412	11,216,936	87,370,348
	平成 26 年度合計	1	89,761,271	12,727,375	102,488,646

(5) 平成 28 年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン補助金分配金（文部科学省）

研究事業名	件数			本学分配額	
		各部署配分額	事務経費		
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	1	4,880,000	1,649,000	6,529,000	
(参考)	平成 27 年度合計	1	5,421,000	1,767,000	7,188,000
	平成 26 年度合計	1	3,630,000	4,475,000	8,105,000

《兵庫医科大学病院》

○ 患者数

			対前年度
入院患者数	延患者数（在院＋退院）	308,091 人	101.6%
	1 日平均	844.1 人	101.9%
	平均在院日数（一般）	11.7 日	△0.1 日
	平均在院日数（全体）	12.2 日	△0.1 日
外来患者数	延患者数	653,198 人	100.0%
	1 日平均	2,419.1 人	100.0%

○ 平成 28 年度兵庫医科大学病院防災訓練（机上訓練）

3 月 16 日（木）に地震・津波に見舞われた際の業務継続計画（COOP）の検討を目的に災害対策本部構成員を対象とした防災訓練（机上訓練）を実施した。災害対策本部構成員及び総務課、DMAT メンバー等約 30 名が参加し、講師によるミニレクチャー及びワークショップ形式のディスカッションを行った。

○ 国際規格 ISO15189 : 2012 の拡大審査と定期サーベイランス受診

12月12日(月)および13日(火)に、昨年取得した国際規格 ISO15189 の認定範囲に、病理検査室を追加するための拡大審査と定期サーベイランス(維持審査)を受診し、3月12日に認定された。これにより、検体検査、生理検査、輸血検査、病理検査について品質管理システムおよび検査技術の維持管理が出来ていることが証明された。

○ 市民健康講座

平成28年度実施の市民健康講座は次の通り。

平成28年度 市民健康講座

講演日	講演者			テーマ	参加者数
4月13日	呼吸器外科	医 師	近藤 展行	縦隔腫瘍の治療 ～最新の外科治療を中心に～	24名
5月11日	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医 師	桂 弘和	難聴と耳の手術	48名
5月25日	薬剤部	薬剤師	樋上 智子	薬の副作用について考える	72名
6月15日	炎症性腸疾患内科	医 師	高川 哲也	腸内細菌と健康	89名
7月6日	整形外科	医 師	橋 俊哉	中高齢者の背骨の変形と痛み	67名
7月20日	放射線医療センター	医 師	福島 和人	FDG-PETを用いた癌診断 ～PETでわかること、わからないこと～	64名
8月17日	ペインクリニック部	医 師	廣瀬 宗孝	痛み治療の最前線	60名
9月21日	歯科口腔外科	医 師	岸本 裕充	口腔から始める老化予防 ～禁煙も含めて～	51名
	看護部	看護師	清田 まゆみ	禁煙外来ってなあに	
10月12日	産科婦人科	医 師	田中 宏幸	当科における更年期障害の治療 ～女性のライフサイクルに合わせた治療～	21名
11月2日	臨床栄養部	栄養士	三野 幸治	「動脈硬化予防とガン予防のための食事」 ～血管を護る食事はガン予防にもつながる～	78名
11月16日	腎・透析内科	医 師	長澤 康行	慢性腎臓病ってどんな病気でしょうか ～どうやって見つけるか?そして、どうやって付き合うか?～	53名
12月7日	歯科口腔外科	医 師	本田 公亮	それ本当に顎関節症ですか? ～顎関節症と鑑別すべき重要疾患～	58名
1月18日	肝・胆・膵内科	医 師	榎本 平之	C型肝炎について ～診断と治療～ ※肝炎患診療連携拠点病院事業	42名
2月1日	形成外科	医 師	河合 建一郎	熱傷(やけど)のお話 ～やけどをしたらどうする?～	37名
2月15日	呼吸器内科	医 師	柴田 英輔	アスベスト関連疾患について	32名
3月15日	精神科神経科	医 師	山田 恒	社交不安障害の診断と治療 ～対人恐怖と引きこもり～	79名
講演回数：16回 参加者総数：875名					

○ 主な補助金等

・ 臨床研修事業に係る国庫補助金（医科）	46,896,000	円
・ 臨床研修事業に係る国庫補助金（歯科）	3,028,000	円
・ 医療関係者研修費等補助金（看護師特定行為）	3,245,000	円
・ 文部科学省大学改革推進等補助金		
・ 未来医療研究人材養成拠点形成事業	26,702,000	円
・ 課題解決型高度医療人材養成プログラム共同事業	1,000,000	円
・ 救命救急センター運営補助金	73,124,000	円
・ 周産期母子医療センター運営費補助金	2,628,000	円
・ 産科医等育成・確保支援事業補助金	282,000	円
・ 防災訓練等参加支援事業補助金	107,000	円
・ 救命救急センター設備整備事業補助金	4,586,000	円
・ 周産期医療施設設備整備補助事業補助金	5,947,000	円
・ 新人看護職員卒後臨床研修事業補助金	910,000	円
・ 臓器移植コーディネーター委託費	5,354,000	円
・ 阪神南圏域（西宮市・芦屋市） リハビリテーション支援センター運営委託費	741,000	円
・ 肝疾患診療連携拠点病院補助事業補助金	2,654,000	円
・ がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	8,000,000	円
・ エイズ中核拠点病院業務委託費	178,000	円
・ エイズ診療従事者等研修委託費	114,000	円
・ 兵庫県認知症疾患医療センター運営委託費	3,620,000	円
・ 認知症地域医療連携体制強化事業補助金	3,464,000	円
・ 熊本地震医療救護班派遣費補助金	2,208,093	円
・ HIV感染者等保健福祉相談事業委託費	750,000	円
・ あっせん事業体制整備事業補助金	1,200,000	円
合 計	196,738,093	円

（平成 25 年度合計） 334,710,500 円

（平成 26 年度合計） 216,459,000 円

（平成 27 年度合計） 218,663,460 円

《ささやま医療センター・ささやま老人保健施設・ささやま居宅サービスセンター》

○ 患者数

1) ささやま医療センター

入院患者数	51,507 人	(延数)
〃 一日平均	141.1 人	
外来患者数	72,697 人	(延数)
〃 一日平均	297.9 人	

2) ささやま老人保健施設

入 所	30,666 人	(延数)
〃 一日平均	84.0 人	
短期入所	4,618 人	(延数)
〃 一日平均	12.7 人	
通 所	9,989 人	(延数)
通所リハビリ 一日平均	34.9 人	
予防通所	3,025 人	(延数)
〃 一日平均	12.3 人	

3) ささやま居宅サービスセンター

居宅介護支援	1,451 人	(要介護)
訪問看護	250 人	(要介護)
訪問介護	167 人	(介護保険)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	22 人	(介護保険)

○ 熱源改修・省エネ対策工事

ささやま老人保健施設、リハビリテーションセンターで省エネ対策事業として、経済産業省の革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金に応募・採択され、大幅な省エネにより病院等ではじめて「BELS」の最高ランク 5 つ星の認定を取得した。館内照明の LED 化・熱源・空調機器・給湯の各設備を最新の高効率機種に更新することにより建物 1 次エネルギーの 52% の大幅な光熱費の削減が見込まれる予定である。

○ JR 西日本主催列車事故救済合同訓練への参加

平成 28 年 11 月 25 日 (金)、JR 西日本主催による「列車事故お客様救済合同訓練」に、篠山警察署、篠山消防署などとともに、ささやま医療センターから医師 3 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名が参加した。JR 福知山線古市・南矢代駅間において立ち往生していた大型トラックに快速電車が衝突し、多数の負傷者が車内に閉じ込められたという想定で、篠山地区の関係機関が緊密に連携を取り、人命を最優先にした迅速な初動対応及び対処能力の向上を図ることを目的に訓練が行われた。

## ○ 主な補助金等

項目	26年度	27年度	28年度
新人看護職員卒後臨床研修事業補助金	422,000円	530,000円	205,000円
ささやま医療センター施設整備費等補助金	90,000,000円	90,000,000円	90,000,000円
篠山市救急医療対策事業補助金	41,872,000円	48,317,000円	48,900,000円
病院内保育所運営事業	2,124,000円	2,124,000円	2,124,000円
へき地医療拠点病院運営費事業補助金	1,533,000円	2,213,000円	1,867,000円
丹波医療圏病院群輪番制補助金	5,858,900円	5,930,350円	5,930,350円
丹波医療圏小児救急輪番制補助金	2,449,404円	4,707,516円	5,082,978円
小児救急医療拠点病院設備整備事業補助金	—	—	8,436,000円
★地域介護拠点整備費補助金	—	10,300,000円	—
★在宅復帰支援機能強化事業	—	725,000円	—
☆地域サポート型施設等定期巡回サービス参入促進モデル事業	—	—	3,000,000円
☆利用者情報を記録するICT機器等の整備補助事業	—	—	375,000円
合計	144,259,304円	164,846,866円	165,920,328円

## 《兵庫医療大学》

### ○ 平成29年度兵庫医療大学入学試験（所管：入試・広報課）

平成29年度学生募集は、推薦入学試験（専願公募制・指定校推薦・公募制S日程・公募制A日程・公募制B日程）、一般入学試験（前期A日程・前期B日程・前期C日程・後期日程・大学入試センター試験利用入学試験前期日程・大学入試センター試験利用入学試験中期日程・大学入試センター試験利用入学試験後期日程）を次のとおり実施した。

主な変更点として、推薦入学試験では公募制S日程（薬学部・看護学部）を新設し、公募制A日程はリハビリテーション学部を追加して全学部対象とした。また、一般入学試験では看護学部の前期日程を前期A日程に統合し、前期B日程は看護学部を追加して全学部対象とした。さらに、薬学部のセンター試験利用入学試験後期日程をセンター試験利用入学試験中期日程として実施時期を変更した。

なお、学外会場を設けた入学試験については、前年度は前期B日程のみの実施であったが、平成29年度は前期A日程と前期B日程の2日間連続で実施した。志願者数は、全学部で両日合わせ大阪会場264名、岡山会場68名であった。



1) 推薦入学試験（専願公募制）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	20	20	10	13
出願者数	49	155	75	44
受験者数	49	154	75	44
合格者数	32	20	11	13
入学者数	32	20	11	13

2) 推薦入学試験（指定校推薦入学制度）

区分	薬学部
募集人員	5
出願者数	5
受験者数	5
合格者数	5
入学者数	5

3) 推薦入学試験（公募制S日程）

区分	薬学部	看護学部
募集人員	10	7
出願者数	53	149
受験者数	53	149
合格者数	31	18
入学者数	19	14

4) 推薦入学試験（公募制A日程）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	10	10	4	4
出願者数	141	249	114	37
受験者数	140	248	114	37
合格者数	61	42	7	9
入学者数	25	25	5	6

5) 推薦入学試験 (公募制B日程)

区分	薬学部
募集人員	10
出願者数	86
受験者数	85
合格者数	12
入学者数	9

6) 一般入学試験 (前期A日程)

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	35	35	16	13
出願者数	255	353	145	51
受験者数	248	351	144	51
合格者数	101	78	39	25
入学者数	22	46	20	16

7) 一般入学試験 (前期B日程)

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	25	15	8	8
出願者数	153	284	152	38
受験者数	146	278	151	38
合格者数	59	32	23	17
入学者数	25	11	12	7

8) 一般入学試験 (前期C日程)

区分	薬学部
募集人員	15
出願者数	117
受験者数	108
合格者数	33
入学者数	18

9) 一般入学試験 (後期日程)

区分	薬学部	看護学部
----	-----	------

募集人員	10	5
出願者数	90	88
受験者数	84	88
合格者数	36	5
入学者数	24	5

1 0) 大学入試センター試験利用入学試験前期日程

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	7	5	2	2
出願者数	28	48	40	15
受験者数	25	48	40	15
合格者数	7	10	13	5
入学者数	1	1	0	1

1 1) 大学入試センター試験利用入学試験中期日程

区分	薬学部
募集人員	3
出願者数	8
受験者数	8
合格者数	3
入学者数	2

1 2) 大学入試センター試験利用入学試験後期日程

区分	看護学部
募集人員	3
出願者数	5
受験者数	5
合格者数	1
入学者数	1

1 3) 合計

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	150	100	40	40
出願者数	985	1331	526	185
受験者数	951	1321	524	185
合格者数	380	206	93	69

入学者数	182	123	48	43
------	-----	-----	----	----

○ 平成29年度兵庫医療大学大学院入学試験

平成29年度大学院入学試験を次のとおり実施した。

1. 入学試験 I期（薬学研究科、看護学研究科、医療科学研究科）

区分	薬学研究科	看護学研究科	医療科学研究科
募集人員	3	8	8
出願者数	0	3	12
受験者数	0	3	11
合格者数	0	3	9
入学者数	0	3	9

2. 入学試験 II期（薬学研究科、看護学研究科）

区分	薬学研究科	看護学研究科
募集人員	若干名	若干名
出願者数	1	2
受験者数	1	2
合格者数	1	1
入学者数	1	1

○ 国家試験

第102回 薬剤師国家試験

区分	6年制新卒			6年制既卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本学	118	52	44.1	89	47	52.8
本学（平成27年度）	102	44	43.1	119	85	71.4
本学（平成26年度）	96	60	62.5	125	70	56.0
全国	8,291	7,052	85.1	4,515	2,295	50.8

第106回 看護師国家試験

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本学	93	93	100.0	1	1	100.0
本学（平成27年度）	98	97	99.0	1	1	100.0
本学（平成26年度）	98	98	100.0			

全 国	56,381	53,177	94.3	6,153	2,190	35.6
-----	--------	--------	------	-------	-------	------

第 103 回 保健師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	29	29	100.0			
本学 (平成 27 年度)	36	36	100.0	1	1	100.0
本学 (平成 26 年度)	98	98	100.0	2	2	100.0
全 国	7,590	7,172	94.5	617	278	45.1

第 100 回 助産師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	8	8	100.0			
本学 (平成 27 年度)	9	9	100.0			
本学 (平成 26 年度)	8	8	100.0			
全 国	2,044	1,904	93.2	9	5	55.6

第 52 回 理学療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	40	40	100.0			
本学 (平成 27 年度)	41	40	97.6	1	1	100.0
本学 (平成 26 年度)	46	45	97.8			
全 国	10,721	10,319	96.3	2,998	2,069	69.0

第 52 回 作業療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	51	51	100.0	2	1	50.0
本学 (平成 27 年度)	47	46	97.9	4	3	75.0
本学 (平成 26 年度)	43	40	93.0	1	0	0
全 国	5,303	4,800	90.5	680	207	30.4

## ○ 社会学連携アドバイザーボードの設置

社会学連携推進機構は、医療、福祉、介護、健康づくりなどの観点から、地域社会と医療大学との連携活動におけるプラットフォームとして活動しており、その活動だけでなく、自治体・企業及び地域医療コミュニティとの連携を基盤とした本学の教学活動に対して助言を行う組織として、平成 28 年 7 月に「社会学連携アドバイザーボード」を設置した。

## ○ 神戸市と「災害時の医薬品集積センターとしての一時使用に関する協定」を締結

「神戸市地域防災計画」において、災害時に神戸市が設置する医薬品集積センターとして、本学のアリーナ施設を使用するため、一時使用に関する協定を平成 29 年 3 月 15 日に締結した。

## ○ 篠山市と地域連携に関する協定を締結

篠山市の地域活性化と篠山市民の健康増進、介護予防に寄与するため、また併せて、本学学生が連携協力による取組を支援することによってアクティブ・ラーニングを実践することを目的に、連携協定を平成 28 年 8 月 1 日に締結した。

## ○ 神戸学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、夙川学院短期大学との連携協定を締結

この協定は、平成 20 年に締結した「神戸ポートアイランド 4 大学連携協定」から 10 年を迎えるのを機に、教職員研修の共同実施や、大学間単位互換などといった連携事業を継続的に実施するとともに、現状に合わせて、大学間の教育研究の交流、地域活性化等をさらに深めていくため、5 大学の連携として平成 29 年 3 月 10 日に締結した。

## ○ 補助金

平成 28 年度科研費獲得実績

(単位：千円)

研究種目名	件数	直接経費	間接経費	交付額
基盤研究 (B)	1	3,400	1,020	4,420
基盤研究 (C)	19	21,370	6,411	27,781
挑戦的萌芽研究	2	1,500	450	1,950
研究活動スタート支援	1	1,200	360	1,560
若手研究 (B)	10	7,600	2,280	9,880
計	33	35,070	10,521	45,591
(参考) 平成 27 年度合計	35	41,900	12,570	54,470
(参考) 平成 26 年度合計	44	51,600	15,480	67,080

### Ⅲ 財務の概要

#### 《概要》

##### 1. 概要

平成 28 年度は、新病院棟建設に向けた学校法人全体の経営基盤安定のため、運営の改善及び効率化を図り、持続的投資を可能とする適正な収支差額を確保した予算編成とすることを基本方針とし、下記重点事項を掲げました。

- ① 各部門における収入確保施策の実行と徹底した経費見直しによる更なる支出削減
- ② 人件費の増大を抑制するための各種施策の実施
- ③ 教育研究棟建設プロジェクト予算遵守のための徹底的なコストカットの実施

こうした中で、平成 37 年度竣工を目指し計画している新病院棟建設事業を遂行していくための第 1 年次目として、平成 28 年度は基本金組入前当年度収支差額 13.9 億円の予算を決定しスタートしました。

「収入増」「経費削減」に各部門が取り組んだ結果、収入面では前年度実績を上回る事ができましたが予算を達成することはできませんでした。支出面では「経費削減」が前進したものの、資産処分差額が影響し、基本金組入前当年度収支差額は 6.4 億円にとどまり、予算比 7.5 億円のマイナスとなりました。

※ 財務情報（消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、財産目録）については、ホームページの「情報の公表」の事業報告書・財務諸表の財務諸表をご参照ください。

[http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/financial\\_statement/](http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/financial_statement/)

以上

平成 29 年 7 月 1 日  
総務部 総務課